

第1学年算数科学習指導案

貴志川町立西貴志小学校 宇田智津

単元名 ながさくらべ(全体時間3時間)

コンテンツ名 「ながさをくらべよう」(S04.mpeg)

第1学年 実施時期 2学期9月

単元目標

- 【関心・意欲・態度】 ・身の回りのものの長さのくらべ方に興味をもち、そのよさを知り、進んで生かそうとする。
- 【数学的な考え方】 ・「単位とする大きさを決めて、そのいくつ分として長さを考える。」という測定の基礎となる考え方を身につける。
- 【表現・処理】 ・具体物の長さの比較ができる。
- 【知識・理解】 ・長さの概念を理解する。

本時の目標と展開(全3時間 本時はその1時間目)

- 1, 具体物を用いて長さ比べの方法(一方をそろえる・のぼすなど)について理解する。(本時)
- 2, 直接重ね合わせることができないものの長さの比べ方を工夫するとともに、長さの観念を養う。
- 3, 身近にあるものの長さを単位として、そのいくつ分で長さを比べることができる。

学 習 活 動

(1) 2本の鉛筆の長さを比べる。

T「赤い鉛筆と黒い鉛筆、どちらの方が長いかな予想しよう。」

S「赤い鉛筆。」

T「どちらが長いかな、はっきりさせるにはどうすればいいのかな。」

S「2本の鉛筆を比べる。」

S「2本の鉛筆をあわせて比べる。」

T「長さを比べるときに気をつけることはどんなことですか。」

S「鉛筆の端をそろえる。」

- ・鉛筆の方向を変えたり、握っている部分の長さを変えたりするなど、直接比較できないように提示する。
- ・具体物を用いて、一方をそろえて比べればよいことに気づかせる。

(2) デジタルコンテンツと具体物を用いて、2本の曲がったモールの長さを比べる。

T「今度は画面を見ましょう。どちらの方が長いかな予想しましょう。」(課題提示 音あり 8秒)

S「赤いひも。」

S「おなじかな。」

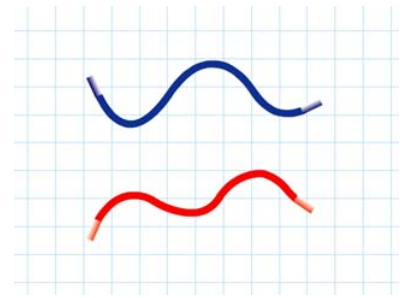
T「どちらが長いかはっきりさせるにはどうすればいいのかな。」

S「ひもの端をそろえる。」

T「長さを比べるとき、端をそろえることのほかに気をつけることはどんなことですか。」

S「ひものをのばす。」

T「画面を見て確認してみよう。」(確認 音あり ひもを伸ばす場面から最後までコンテンツを表示)



- 一方をそろえることとまっすぐにのばして比べることに気付かせる。
- コンテンツを用いて確認する前に具体物を用いて、実際に比べるようにする。

(3) はがきの縦と横の長さを比べる。

T「はがきの縦と横とはどの部分をいうのでしょうか。」

T「はがきの縦と横の長さを比べるためにはどうすればいいのでしょうか。」

S「2枚のはがきを比べる。」

S「折って比べる。」

- 1枚のはがきで比べさせ、折って比べればよいことに気付かせる。

(4) 机の縦と横の長さを比べる。

T「机の縦と横の長さを比べるためには、どのようにすればいいのでしょうか。」

S「同じ机を持ってきて、縦と横の長さを比べる。」

T「一つの机で縦と横の長さを比べることができるかな。」

S「ひもで長さを測ればいいよ。」

- 机は折り曲げたり並べたりできないので、紙やテープやひもを用いて比べることができることに気付かせる。

(4) 本時のまとめをする。

- 直接比較の方法、関節比較の方法を本時を振り返ってまとめる。
 - 一方をそろえて比べる。
 - 曲がっているものはのばして比べる。
 - ひもやテープをはって長さを比べることができる。

コンテンツについて

大日本図書 算数数学の思考過程をイメージ化する動画素材集より

ながさをくらべてみよう http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_01/es_01_1.htm#04